

委員 井上隆司、尾野恭一、○久保義弘、鍋倉淳一、持田澄子、矢田俊彦、柚崎通介

報告事項 委員会報告の形式から逸脱した箇所もあるが、今期の国際交流活動について記す。

1. 第 93 回生理学会大会(札幌)における国際交流関連シンポジウムの企画について

第 93 回大会において、下記 3 件を実施する。(既出なので、簡略化して記載)

(1) 日中合同シンポジウムについて

Japan-China Joint Symposium -Towards FAOPS2019-

“Regulation of the function, structure and trafficking of ion channel complexes by accessory subunits”

Chairs: Dr Yoshihiro Kubo & Dr KeWei Wang

Speakers: Dr KeWei Wang (Dept Neurobiol, Peking University) **PSJ 招待** (他 3 名)

(2) 日韓合同シンポジウムについて

Japan-Korea Joint Symposium -Towards FAOPS2019-

“Gut to brain information flow in systemic physiology”

Chairs: Dr Toshihiko Yada & Dr Young Min Cho

Speakers: Dr Young Min Cho (Dept Internal Med, Seoul Natl Univ College of Med) **PSJ 招待**
(他 3 名)

(3) 日豪合同シンポジウムについて

本シンポジウムは、FAOPS 2019 組織委員会・鍋倉委員長の企画面、財政面でのご尽力をいただき
て実施されるものである。PSJ からは、札幌での滞在費 (1 名につき上限 5 万円、合計 10 万円) を支
援する。次回以降の経費については継続審議とする。

Japan-Australia Joint Symposium -Towards FAOPS2019-

“Recent advances in Hearing Research: From Channel to Behavioral Regulation”

Chairs: Dr Junichi Nabakura (Natl Inst Physiol Sci) &

Dr Andrew Moorhouse (Univ South Wales)

Speakers: Dr David Ryugo (Garvan Institute) **PSJ 招待**

Dr Gary Housley (Univ New South Wales) **PSJ 招待** (他 2 名)

2. 中国生理学会 (CAPS) 主催の国際生理学会 2016 について

CAPS 主催の国際生理学会 (2016 年 9 月 25-28 日、北京)

2016 International Conference of Physiological Sciences が開催される。

<http://www.pco-online.com/icps2016/>

(1) CAPS-PSJ 合同シンポジウムについて

PSJ から提案したシンポジウム 2 題が、ともに採択された。(既出なので、簡略化して記載)

“Physiology and Pathophysiology of Cystic Fibrosis Transmembrane conductance Regulator (CFTR) in Asia: Asian CF and CFTR-mediated non-CF disease”

Chairs: Dr Yoshiro Sohma (Dept Pharmacol, Keio Univ School of Med) (他 1 名)

Speakers: Dr Yoshiro Sohma (Dept Pharmacol, Keio Univ School of Med) (他 4 名)

“Dynamic aspects of structure, function, regulation and physiological relevance of ion channels”

Chairs: Dr Yoshihiro Kubo (Dept Molec Physiol, Natl Inst Physiol Sci) (他 1 名)

Speakers: Dr Yasushi Okamura (Dept Integrative Physiol, Osaka Univ School of Med)
(他 4 名)

(2) Plenary Lecturer 候補者の推薦

CAPS から、”renal, reproduction, GI, endocrine, etc” 分野の Plenary Lecturer 候補者の推薦を求められた。国際交流委員会および理事長、副理事長で協議した結果、丸中良典先生(京都府立大学)を推薦した。後日、CAPS から丸中先生に対し、Plenary Lecturer としての招待状が届いた。

3. オーストラリア生理学会 AuPS2016 での AuPS-PSJ 合同シンポジウムの開催について

AuPS President の Graham Lamb 教授より、AuPS 2016 大会(2016 年 12 月 4-7 日、アデレード)において、PSJ から 2 名の講演者を招いて、両生理学会による豪日合同シンポジウムを開催したい旨、連絡があった。AuPS より、PSJ 講演者 1 人当たり 1,000 オーストラリアドルの旅費支援が与えられるとのことである。具体的な企画依頼が届いたら、ぜひ提案したいと考えているが、現時点で依頼は届いていない。(AuPS の web page 上にも、AuPS2016 に関する情報はまだ掲載されていない。)

4. FAOPS2015 関連

別途、FAOPS の報告のページに記す。

5. IUPS 2017 関連

IUPS 分科会から別途報告があると思われるので、本委員会に関連する点を中心に記す。

IUPS2017 が、2017 年 8 月 1-5 日、リオデジャネイロ(ブラジル)にて開催される。

(1) プログラム委員会から、学協会等を通してではなく、web 上で個々人に対する Plenary および Keynote Lecturers の提案の呼びかけがあったため、生理学会会員にし、積極的提案をお願いした。ふさわしい日本人講演者の名前が挙がらない事態を恐れ、学術会議 IUPS 分科会の御子柴克彦委員長等と相談しつつ、Plenary Lectures 3 名、Keynote Lecturers 3 名を、久保から提案した。

(2) 提案した中から、2 名に対し Keynote Lecture の講演依頼が届いた。(提案者の久保にも CC で届いた。) 招聘の条件は、フライトに関してはエコノミークラス運賃の支給であった。そこで、ビジネスクラス運賃との差額分を日本生理学会から補助する可能性について、委員会、および理事長、副理事長で協議した。その結果、旅費補助は行わないこととなった。提示された条件での講演の諾否に

については、日本生理学会からの旅費補助はないことをお伝えした上で、講演者ご自身のご判断にお任せすることとなった。

(3) Plenary Lecturer については、御子柴先生によると、選考の最終段階にある。

(4) プログラム委員会から、シンポジウムの提案依頼が届いた。学協会でのとりまとめは求められておらず、個々人で提案する形であるため、日本生理学会会員に **web page** への掲載、および一斉メールの送付により、提案を呼びかけた。その際、主な注意点として、ガイドラインから抜粋して下記を記した。締め切りは **3月14日** である。

- ・ 短い若手枠を含むもの、含まないもの 2 種類の提案を受け付ける。
- ・ 選考にあたり、研究分野、性別、国籍、年齢等のバランスを考慮する。
- ・ 大会からの、旅費、滞在費等のサポートはごく少額となる。
- ・ 提案前に、すべての講演者から参加の内諾をとること。
- ・ 提案者が、講演者との連絡等の今後の実務を担う。
- ・ 先導的な提案、タイムリーな提案を優先する。
- ・ プログラム委員会が、複数の提案を統合する可能性がある。

6. その他

Chinese Physiological Society (CPS) in Taipei (台湾の生理学会) から個人的に依頼を受けて、久保は、合同年会 2016 Joint Annual Conference of Biomedical Science (JACBS) (Mar 26-27, 2016, Taipei) において、講演を行うこととなった。この機会に、学会長の Po-Shiuan Hsieh 教授、および事務局長の Ying-Jui Ho 教授とお会いして、今後の台湾の生理学会と日本生理学会の交流の促進について意見交換を行いたいと考えている。

常任幹事会への提案(議事として諮りたいことをお書き下さい)

無し。